

## 京都の歴史と文化を活かした産業の 育成支援について

【関係省庁】内閣府 経済産業省 文化庁

京都府には、長い歴史を有する和装・伝統産業から我が国のコンテンツ産業をリードする映画・映像産業まで、「クール・ジャパン」に代表される日本の文化を支える様々な産業が集積しており、府ではこれらをはじめとする京都の歴史と文化を活かした産業の発展を地域からリードするための振興に取り組んでいるところです。

また、和装・伝統産業業界は、東日本大震災後の影響を受け厳しい状況にあるため、伝統工芸品の更なる需要拡大や人材育成などにも併せて取り組んでおります。

こうした京都府の取り組みに対し、予算を重点配分いただきますよう要望します。

### 経済産業省の概算要求

#### **クールジャパン戦略推進事業費 9.2億円**

コンテンツ、ファッションなど文化産業の海外展開を支援するため、クールジャパンの海外売込み及び海外での事業基盤・環境整備を実施する。

#### **コンテンツ産業強化対策支援事業費 9.3億円**

我が国の主要な成長分野として位置づけられるコンテンツ産業であるが、必ずしも海外も含めた高い人気を経済的利益に十分に転換できていないため、国際見本市の開催や国際共同製作の推進等を行うとともに、世界に通用するコンテンツビジネスプロデューサー育成等に取り組む。

#### **(復興) 伝統的工芸品産業復興対策支援補助金 2億円 (新規)**

伝産品の被災地を中心に、倒壊した設備の支援等の生産設備確立・強化を行い、風評被害への対策を講じ、日本ブランドの振興を支援する。



京都府からの要望

**1 海外販路開拓等に係る予算措置**

京都府では、世界的にも評価の高い「クール・ジャパン」にも通じる「知恵の街・京都」ならではの感性とこだわりの新しい「Made in Kyoto」を発信する「Cool京都展」などのブランド対策事業に取り組んでいるところです。

こうした取組は、国のクールジャパン戦略の推進に資するものであるため、京都の歴史と文化を活かした海外展開の取組に予算を重点配分してください。

**2 人材育成事業等に係る予算措置**

京都府では、次代の京都の映画・映像産業を担う人材を育成するための若手人材育成や未来の和装・伝統産業を担う職人を養成する大学設置への支援等を実施しているところですが、国内外から優秀な人材を集めることで、こうした京都府の取組を更に効果的なものとするために、国主体で進められる人材育成プロジェクトを京都府内で重点的に実施してください。

**3 伝統産業の需要開拓事業等に係る予算措置**

京都は全国を代表する和装・伝統産業の集積地であり、生産額の割合も全国トップクラスであることから、震災による大きな影響を受けています。

「伝統的工艺品産業復興対策支援補助金」により需要開拓、販路拡大などの事業が実施できるように予算を重点配分してください。

**京都府の現状・課題等**

◆ 「C o o l K y o t o 2011」の開催

- 世界的にも評価の高い「C o o l J a p a n」に通じ、かつ「知恵の街・京都」で生まれた技術や感性が現在の感性に生きている京都ならではの感性とこだわりの新しい「M a d e i n K y o t o」を首都圏（会場：赤坂サカス）から全国に発信。
  - ・ 出展例：人間コピー機、スーパードルフィー（球体関節人形）、戦国鎧ジャケット、京陶印（京焼の陶磁器と京友禅とのコラボ商品）、カーボンファイバー京扇子、LEDあんどん、帆布トートバック、366日の花個紋つき絹ふくさ 等
  - ・ イベントステージ例：東映太秦映画村による忍者イベント等

◆ 「t o p i x 2012」(tokyo pop culture index) への京都企業出展への支援

- 京都での主催者説明会の開催協力等を通じ出展を支援

※ 「t o p i x 2012」の概要

開催地：サンクトペテルブルク（ロシア連邦）

会 期：2012年3月23日（金）から25日（日）まで（予定）

趣 旨：「文化と産業」、「日本と海外」をつなぐため、「ロシア」において、「ファッション」、「デザイン」、「地域産品」、「コンテンツ」、「食」分野における事業機会の創出や輸出促進を目的に、日本の文化関連商品ならびにサービスの総合展示会を開催

◆ 京都府の映画・映像産業振興の主な取組

- マーケット形成・開拓
  - ・ K Y O T O C M E X の開催
  - ・ 太秦シネマフェスティバル、映画・映像企画市の開催
- 若手人材育成
  - ・ 若手才能育成ラボ（国内外のクリエイター約20名参加）の実施
  - ・ 立命館大学と松竹の産学連携映画「京都太秦物語」製作
- 企業集積・拠点づくり
  - ・ 京都府独自の「太秦映画・映像特区」指定による新たな投資や誘致
  - ・ 「太秦メディアパーク構想」の策定
  - ・ 京都太秦クリエイター支援拠点の開設
- 制作誘致
  - ・ 映像産業振興機構（V I P O）京都事務所の開設
  - ・ アジアを主な対象とした映画・映像制作誘致の推進

◆ 映画・映像産業における京都の強み

- ① 日本を代表する国際観光都市、世界的知名度
- ② 撮影所をはじめ映画・映像関連産業、大学・研究機関が集積
- ③ 日本映画発祥の地、映像製作の歴史的背景
- ④ 映画・映像、ゲーム、アニメ・マンガなどのコンテンツの集積

◆ 東日本大震災の影響等（民間調査機関アンケート調査）

- 京都市内の繊維企業の半数が直接的な影響を受けたと回答。
- 約9割の企業が、売上減、取引先の縮小など、今後影響を受けると回答。  
（対象 京都市内の繊維企業51社 実施期間平成23年3月）

<アンケート結果>

- |  |
|--|
| 1 直接的な影響（支店、該当地区取引先の被災等）について<br>影響あり 53%・影響なし47%   |
| 2 年商に対する震災地区への売上比率について<br>東北、関東・首都圏 への売上比率 27%   |
| 3 主な意見<br>・催事等での消費マインドの影響を懸念 ・催事がキャンセルになった。<br>・催事中心の営業は苦戦する。<br>・売上減を懸念<br>・長期的には需要の減退を予想 |

◆ 専修学校 京都伝統工芸大学校（設置者：学校法人二本松学院（所在地：南丹市））が、専門的職業人を育成してきた実績を基に、4年制大学「京都美術工芸大学」を設置

（平成23年10月25日設置認可、平成24年4月開設）

【京都府の担当部局】

商工労働観光部	産業労働総務課	075-414-4819
	染織・工芸課	075-414-4856
	ものづくり振興課	075-414-4847